



# 平成17年3月期 第3四半期(通算) 財務・業績の概況(連結) [米国会計基準]

平成17年1月31日

上場会社名 **富士写真フイルム株式会社**

上場取引所 東 大 名

コード番号 4901

本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.fujifilm.co.jp/>)

代 表 者 代表取締役社長 古森 重隆

問合せ先責任者 コーポレートコミュニケーション部 IR 室長 岡田 淳二 TEL(03)3406-2111

## 1. 四半期業績概要の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

・連結子会社数 193社 持分法適用会社数 99社

## 2. 平成17年3月期 9ヶ月通算の業績概況(平成16年4月1日~平成16年12月31日)

(注)金額は百万円未満を四捨五入表示

### (1) 連結経営成績

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期 9ヶ月通算	1,892,953	0.5	144,852	1.2	143,944	7.8	73,493	2.8
16年3月期 9ヶ月通算	1,902,498	0.5	146,601	10.9	133,519	1.8	71,488	20.2
(参考)16年3月期	2,566,725		184,900		164,948		82,317	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期 9ヶ月通算	143 22	-
16年3月期 9ヶ月通算	139 28	-
(参考)16年3月期	160 38	-

(注) 期中平均株式数(連結) 17年3月期 9ヶ月通算 513,142,738株 16年3月期 9ヶ月通算 513,266,509株  
16年3月期 513,252,348株

売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率を示す。

### (2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期 第3四半期	2,970,893	1,844,245	62.1	3,593 87
16年3月期 第3四半期	3,029,593	1,725,836	57.0	3,362 73
(参考)16年3月期	3,023,509	1,749,882	57.9	3,409 80

(注) 期末発行済株式数(連結) 17年3月期 第3四半期 513,163,881株 16年3月期 第3四半期 513,225,271株  
16年3月期 513,192,100株

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期 9ヶ月通算	136,500	221,337	44,456	334,105
16年3月期 9ヶ月通算	214,446	141,504	25,871	453,179
(参考)16年3月期	327,358	207,186	63,516	461,764

## 3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

業績予想(平成16年10月29日発表)の見直しは行っておりません。



# 平成 17 年 3 月期 第 3 四半期 財務・業績の概況(連結) [米国会計基準]

平成 17 年 1 月 31 日

上場会社名 **富士写真フイルム株式会社**

上場取引所 **東 大 名**

コード番号 **4 9 0 1**

本社所在都道府県 **東京都**

(URL <http://www.fujifilm.co.jp/>)

代 表 者 代表取締役社長 **古森 重隆**

問合せ先責任者 **コーポレートコミュニケーション部 IR 室長 岡田 淳二** TEL(03)3406-2111

## 1. 四半期業績概要の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

・連結子会社数 193 社 持分法適用会社数 99 社

## 2. 平成 17 年 3 月期 第 3 四半期の業績概況 (平成 16 年 10 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日)

(注)金額は百万円未満を四捨五入表示

### (1) 連結経営成績

	売上高		営業利益		税引前利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期 第 3 四半期	640,028	0.4	43,550	17.7	38,009	27.5	20,787	31.6
16 年 3 月期 第 3 四半期	642,719	0.2	52,886	20.6	52,456	1.4	30,376	17.5
(参考) 16 年 3 月期	2,566,725		184,900		164,948		82,317	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
17 年 3 月期 第 3 四半期	40 51	-
16 年 3 月期 第 3 四半期	59 18	-
(参考) 16 年 3 月期	160 38	-

(注) 期中平均株式数(連結) 17 年 3 月期 第 3 四半期 513,121,840 株 16 年 3 月期 第 3 四半期 513,246,006 株  
16 年 3 月期 513,252,348 株

売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率を示す。

### (2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17 年 3 月期 第 3 四半期	2,970,893	1,844,245	62.1	3,593 87
16 年 3 月期 第 3 四半期	3,029,593	1,725,836	57.0	3,362 73
(参考) 16 年 3 月期	3,023,509	1,749,882	57.9	3,409 80

(注) 期末発行済株式数(連結) 17 年 3 月期 第 3 四半期 513,163,881 株 16 年 3 月期 第 3 四半期 513,225,271 株  
16 年 3 月期 513,192,100 株

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17 年 3 月期 第 3 四半期	11,178	77,896	1,903	334,105
16 年 3 月期 第 3 四半期	54,861	45,804	645	453,179
(参考) 16 年 3 月期	327,358	207,186	63,516	461,764

## 1. 経営成績

### (1) 平成16年度 9ヶ月通算 連結業績の概況

平成16年度9ヶ月通算(平成16年4月～12月)の連結売上高は、フラットパネルディスプレイ材料の供給が拡大するとともに、デジタルカラー複合機や海外におけるオフィスプリンターの販売が好調に推移しましたが、米ドルに対する円高の進行に加え、カラーフィルムの需要減少や、記録メディア製品をはじめ一部事業分野における価格競争の激化等により、18,930億円(前年同期比0.5%減)となりました。国内売上高は9,635億円(前年同期比1.3%減)、海外売上高は9,295億円(前年同期比0.3%増)となりました。利益につきましては、強力なトータルコストダウンの推進や、中間期において一過性の要因である富士ゼロックス厚生年金基金の代行給付返上に伴う益の計上があったものの、原材料価格の上昇や、さまざまな構造改革への取り組みに関連して一時的経費が発生したこと等により、営業利益は1,449億円(前年同期比1.2%減)となりました。一方で、税引前利益は1,439億円(前年同期比7.8%増)、当期純利益は735億円(前年同期比2.8%増)と増益となりましたが、その主な要因は、外貨建て債権の為替決済差損と期末評価差損が大幅に減少したこと、また、外部からの借入金削減を推進し、支払利息の減少を図ったこと等によるものであります。当9ヶ月通算の対米ドル円為替レートは109円、対ユーロ円為替レートは134円となりました。

### (2) 平成16年度 第3四半期 連結業績の概況

平成16年度第3四半期(平成16年10月～12月)の連結売上高は、旺盛な需要が続くフラットパネルディスプレイ材料や海外におけるオフィスプリンターの販売が大きく伸長しましたが、一方で、日本及び欧米におけるカラーフィルムの需要減少や、競争激化による記録メディア製品の価格下落等の影響により、6,400億円(前年同期比0.4%減)となりました。国内売上高は3,259億円(前年同期比0.3%増)、海外売上高は3,141億円(前年同期比1.1%減)となりました。売上原価及び営業費用につきましては、購買プロセスの見直しと最適化、生産効率の改善、研究開発費投入の重点化等を強力に推進しました。しかしながら、原材料コストアップ、国内販売・流通体制の改革に伴う一時的経費の発生等により、営業利益は436億円(前年同期比17.7%減)となりました。さらに、営業外収益・費用において、外貨建て債権の為替決済差損と期末評価差損が前年同期に対し35億円増加したこと等がマイナス要因となり、税引前利益は380億円(前年同期比27.5%減)、当期純利益は208億円(前年同期比31.6%減)となりました。当第3四半期の対米ドル円為替レートは106円、対ユーロ円為替レートは137円となりました。

### 【イメージング ソリューション部門】

イメージング ソリューション部門の平成 16 年度第 3 四半期の連結売上高は、デジタルカメラの販売が海外において拡大しましたが、カラーフィルムの販売数量の減少等が影響し、2,054 億円（前年同期比 5.0% 減）となりました。

イメージング分野においては、デジタルからアナログ、画像の入力から出力まで、多様化し進化するニーズに対応した付加価値の高い製品・サービスを提供しております。国内では、「NP（ナチュラルフォト）システム」を発売し、「ノンフラッシュ撮影で、光量の足りないシーンでも自然で奥行きのある雰囲気の写真ができる」という特長を訴求することで、市場への浸透を図っております。海外では、北米においてレンズ付フィルムの販売が好調に推移しました。デジタルカメラにおいては、国内市場では需要の伸び悩みが顕著となる中、スタイリッシュタイプの「FinePix F450/455」を中心に拡販に努めました。一方、海外ではエントリーモデル「FinePix A330/340」に加えて、ネオ一眼タイプの「FinePix S3100/3500」「FinePix S5100/5500」、新カテゴリーのグリップタイプ「FinePix E500/510/550」等の新製品を中心に販売が増加しました。また、当社が新たに開発した「スーパー CCD ハニカム™ SR」を搭載したデジタル一眼レフカメラ「FinePix S3 Pro」を発売し、非常に高い評価を受けております。カメラ付き携帯電話向けメガピクセルカメラモジュールは、高画質機種種の普及に伴う供給先からの増産要請に応え順調に売上を伸ばしました。フォトフィニッシング機器では、海外においてデジタルミニラボ「フロンティア」シリーズの需要が概ね堅調に推移しました。また、超迅速処理と処理能力の向上を実現し、デジカメプリントを 1 件 2 分 24 秒 で処理する超スピード仕上げが可能な新製品「フロンティア 570E」を発売し、拡販に努めております。デジタルミニラボの普及に加え、引き続きテレビ CM をはじめとした「お店プリント」キャンペーンを強力に展開し、国内におけるデジカメプリント比率は、確実に上昇しました。

プリント開始から L サイズ 24 枚が排出されるまでの時間

### 【インフォメーション ソリューション部門】

インフォメーション ソリューション部門の平成 16 年度第 3 四半期の連結売上高は、1,876 億円（前年同期比 0.1% 減）となりました。

医療診断用製品では、国内外ともに、FCR やイメージャ等の販売が堅調に推移しました。また、大規模医療施設で高い評価を得ている医用画像情報ネットワークシステム「SYNAPSE」の機能をパッケージ化した EX シリーズを発売し、国内の中小規模医療施設に向けた普及を促進しました。内視鏡では、スコープの極細径化により鼻からの挿入を可能にし、患者の負担を大幅に軽減した「経鼻内視鏡」が順調に売上を伸ばしました。海外においては、新たにチェコに販売拠点を設立する等、欧米市場における内視鏡の販売体制強化に取り組んでおります。また、世界初の小腸全域の観察・処置を可能にした「ダブルバルーン電子小腸鏡」が、「2004 年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日経産業新聞賞」を受賞しました。印刷システム関連製品では、ワールドワイドで CTP 化が進展し、CTP システム関連製品の販売が引き続き好調に推移しました。当社はこの需要増大に対応するため、米国、オランダ、中国及び日本での四極生産体制の強化を進めております。フラットパネルディスプレイ材料製品では、モニターやノート PC の大型化と液晶テレビの急速な市場拡大に伴い、「フジタック」「WV フィルム」の売上が大幅に増加しました。また、フラットパネルディスプレイ材料の需要拡大を受けて、現在急ピッチで生産能力増強を推進しておりますが、この度新たに熊本県に工場用地を取得し、「フジタック」の新工場を建設することを決定いたしました。今後も時宜を得た資源の集中投入を行い、事業の更なる拡大を図ってまいります。記録メディア製品では、ミッドレンジ系サーバー用のデータストレージテープ市場において激しい価格競争が続いた影響等により、売上が減少しました。そのような中、エンタープライズシステム「3592」（大企業向け基幹システム）用のデータカートリッジの販売が堅調に推移したほか、DVD メディア製品については、テレビ CM 等を通じ販売促進を強化しました。光学レンズ分野では、カメラ付き携帯電話の市場拡大に伴い、メガピクセル対応のレンズユニットの販売が着実に増加しました。

## 【ドキュメント ソリューション部門】

ドキュメント ソリューション部門の平成 16 年度第 3 四半期の連結売上高は、オフィスプリンターの販売が拡大したこと等が寄与し、2,470 億円（前年同期比 3.4% 増）となりました。

オフィスプロダクト事業では、国内において知的カラー複合機「DocuCentre Color 新シリーズ」の販売が引き続き好調に推移しました。モノクロ機においてもネットワーク機能を充実させ、ワークスタイルの変革を強力にサポートする「DocuCentre f285/f235/a285/a235」の 4 機種と、集中出力センターなど高速・大量出力市場の維持拡大を狙った「DocuCentre f1100/f900/a1100/a900」の 4 機種を投入、ラインアップを強化しました。また、セブン-イレブン店舗に CVS 業界で初となるデジカメプリント機能が搭載された「新マルチコピー機」の導入を開始しました。本年 4 月末までに全国 1 万店以上の店舗に設置されている従来機からの入れ替えを完了する予定であります。海外における販売が好調に推移したオフィスプリンター事業では、特に出力スピードがカラー毎分 5 枚、モノクロ毎分 25 枚の高画質カラーレーザープリンターの販売が牽引し、欧米向けのカラー機販売台数は前年比約 3 倍増となりました。プロダクションサービス事業では、オフセット印刷に迫る高画質と優れたプリント生産性を実現した最新鋭の「Xerox iGen3 Digital Production Press」の拡販活動を国内外で強力に展開しました。また、国内においてデジタル化が進む印刷業務工程間の自動化を促進し、全体最適を図るためのデジタル印刷業務総合支援サービス「Fuji Xerox FreeFlow(富士ゼロックスフリーフロー)」の販売を開始しました。オフィスサービス事業では、国内において、お客様のドキュメントを電子化するサービスやドキュメントフロー全体の課題解決を図るドキュメントアウトソーシングビジネスが着実に伸長するとともに、中小規模事業所向けのインターネット環境提供サービス「beat」や自治体向けの戸籍電子文書管理システムの販売も好調に推移しました。

中期経営計画「VISION75」で掲げた基本戦略の 1 つである「新たな成長戦略の構築」に向けた取り組みとして、M & A や他社とのアライアンスも積極的に推進しております。

米国 Arch Chemicals, Inc. との間で、同社の半導体関連化学品の研究開発・生産・販売部門である Microelectronic Materials 部門を買収すること、及び同社が保有する「富士フィルムアーチ(株)」の株式持分(49%)を取得することについて契約を締結しました。これまで半導体製造用のフォトレジスト、液晶ディスプレイやイメージセンサー向けのカラーフィルター製造用のカラーレジスト等の感光材料を日本及び東アジア、オセアニア市場に供給しておりましたが、今回の買収により、新たに欧米市場のマーケティング機能を統合し、半導体関連プロセス材料事業をグローバルに展開してまいります。なお、これを機に「富士フィルムアーチ(株)」は、平成 16 年 12 月 1 日より社名を「富士フィルムエレクトロニクスマテリアルズ(株)」に変更しております。

また、スクリーン印刷用インクや産業用インクジェット用インクの世界でのトップメーカーである英国 Sericol Group, Limited を買収することを決定し、このほど契約を締結しました。この買収により、これまでの商業・出版・新聞印刷分野に向けた製品・サービスの提供に加え、今後も安定した需要の伸びが見込めるスクリーン印刷、工業製品印刷、パッケージ印刷等の産業用印刷分野に事業領域を広げ、印刷システム事業の更なる拡大を図ってまいります。本買収に伴い、Sericol 社は当社の 100% 子会社となり、社名を「FUJIFILM Sericol Limited」として新たに発足いたします。

一方、研究開発においては、神奈川県に新たに用地を取得し、新研究拠点「先進コア技術研究所」を建設することを決定しました（平成 18 年 3 月竣工予定）。ここに全社横断的な基礎研究を担う 3 つのコーポレートラボを結集させ、高度な異種業種の融合によるシナジー効果と総合力の発揮により、将来を担う新規事業を創出していくための独創性の高い新たな技術を創造していくことを狙いとしております。また、将来的には、グループ会社の富士ゼロックス(株)やフジノン(株)をはじめ、他社とのアライアンス・産学連携・M & A などによる新規技術も取り込んで研究領域を拡大し、同研究所を富士フィルムグループ全体のイノベーションをリードする研究開発の中核基地としていくことを構想としております。

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

## 2. 比較連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別		17年3月期中間期		増減 (は減少)	16年3月期	
			平成16年9月30日現在			平成16年3月31日現在	
[資産の部]	%		%			%	
流動資産							
現金及び現金同等物		334,105		404,565	70,460		461,764
有価証券		69,078		73,038	3,960		33,906
受取債権		537,948		518,708	19,240		535,836
棚卸資産		377,564		376,187	1,377		348,309
その他の流動資産		118,822		113,300	5,522		110,833
流動資産合計	48.4	1,437,517	49.6	1,485,798	48,281	49.3	1,490,648
投資及び長期債権	13.3	395,017	12.7	381,817	13,200	13.1	396,693
有形固定資産	24.2	720,071	24.2	723,321	3,250	23.3	705,149
その他の資産	14.1	418,288	13.5	405,872	12,416	14.3	431,019
資産合計	100.0	2,970,893	100.0	2,996,808	25,915	100.0	3,023,509
[負債の部]							
流動負債							
社債及び短期借入金		128,960		120,358	8,602		143,265
支払債務		315,280		321,917	6,637		340,679
その他の流動負債		248,356		279,371	31,015		268,142
流動負債合計	23.3	692,596	24.1	721,646	29,050	24.9	752,086
固定負債							
社債及び長期借入金		112,731		114,748	2,017		116,823
退職給付引当金		128,486		130,680	2,194		216,135
その他の固定負債		82,277		83,402	1,125		84,858
固定負債合計	10.9	323,494	11.0	328,830	5,336	13.8	417,816
少数株主持分	3.7	110,558	3.8	114,984	4,426	3.4	103,725
[資本の部]							
資本金 普通株式							
授權株式数 800,000,000株							
発行済株式数 514,625,728株		40,363		40,363	0		40,363
資本剰余金		68,135		68,135	0		68,135
利益剰余金		1,789,747		1,768,979	20,768		1,722,692
その他の包括利益(損失)累積額		48,741		40,688	8,053		76,121
自己株式		5,259		5,441	182		5,187
資本合計	62.1	1,844,245	61.1	1,831,348	12,897	57.9	1,749,882
負債及び資本合計	100.0	2,970,893	100.0	2,996,808	25,915	100.0	3,023,509

### 3. 比較連結損益計算書

< 第3四半期 >

単位 百万円

科目	期別	17年3月期 第3四半期		16年3月期 第3四半期		増減 (は減少)	
		自平成16年10月1日 至平成16年12月31日		自平成15年10月1日 至平成15年12月31日		増減額	増減率
		%		%			%
売上高							
売上高			551,997		555,917	3,920	0.7
レンタル収入			88,031		86,802	1,229	1.4
		100.0	640,028	100.0	642,719	2,691	0.4
売上原価							
売上原価			342,306		338,459	3,847	1.1
レンタル原価			36,218		34,278	1,940	5.7
		59.1	378,524	58.0	372,737	5,787	1.6
売上総利益		40.9	261,504	42.0	269,982	8,478	3.1
営業費用							
販売費及び一般管理費		27.8	177,821	27.0	173,703	4,118	2.4
研究開発費		6.3	40,133	6.8	43,393	3,260	7.5
		34.1	217,954	33.8	217,096	858	0.4
営業利益		6.8	43,550	8.2	52,886	9,336	17.7
営業外収益及び費用 ( )							
受取利息及び配当金			1,625		1,075	550	
支払利息			921		1,122	201	
為替差損益・純額			5,386		1,846	3,540	
投資有価証券評価損			0		7	7	
その他損益・純額			859		1,470	2,329	
		0.9	5,541	0.0	430	5,111	1,188.6
税引前利益		5.9	38,009	8.2	52,456	14,447	27.5
法人税等		2.1	13,387	3.0	19,044	5,657	29.7
少数株主損益及び持分法 による投資損益前利益		3.8	24,622	5.2	33,412	8,790	26.3
少数株主損益		0.5	3,384	0.7	4,089	705	17.2
持分法による投資損益		0.1	451	0.2	1,053	1,504	-
当期純利益		3.2	20,787	4.7	30,376	9,589	31.6

< 9ヶ月通算 >

単位 百万円

科目	期別	17年3月期 9ヶ月通算		16年3月期 9ヶ月通算		増減 (は減少)	
		自平成16年 4月1日 至平成16年 12月31日		自平成15年 4月1日 至平成15年 12月31日		増減額	増減率
		%		%			%
売上高							
売上高		1,628,368		1,638,058	9,690	0.6	
レンタル収入		264,585		264,440	145	0.1	
		100.0	1,892,953	100.0	1,902,498	9,545	0.5
売上原価							
売上原価		1,010,055		999,111	10,944	1.1	
レンタル原価		107,696		104,574	3,122	3.0	
		59.0	1,117,751	58.0	1,103,685	14,066	1.3
売上総利益		41.0	775,202	42.0	798,813	23,611	3.0
営業費用							
販売費及び一般管理費		31.0	586,986	27.5	522,953	64,033	12.2
研究開発費		6.7	126,493	6.8	129,259	2,766	2.1
厚生年金基金代行返上差額金		4.4	83,129	-	-	83,129	-
		33.3	630,350	34.3	652,212	21,862	3.4
営業利益		7.7	144,852	7.7	146,601	1,749	1.2
営業外収益及び費用 ( )							
受取利息及び配当金			4,390		3,459	931	
支払利息			3,001		4,230	1,229	
為替差損益・純額			1,810		5,401	3,591	
投資有価証券評価損			33		295	262	
その他損益・純額			454		6,615	6,161	
		0.1	908	0.7	13,082	12,174	93.1
税引前利益		7.6	143,944	7.0	133,519	10,425	7.8
法人税等		3.0	56,093	2.9	54,797	1,296	2.4
少数株主損益及び持分法 による投資損益前利益		4.6	87,851	4.1	78,722	9,129	11.6
少数株主損益		0.7	14,298	0.5	10,108	4,190	41.5
持分法による投資損益		0.0	60	0.2	2,874	2,934	-
当期純利益		3.9	73,493	3.8	71,488	2,005	2.8

#### 4. 比較連結キャッシュ・フロー計算書

< 第3四半期 >

単位 百万円

科目	期別	17年3月期	16年3月期
		第3四半期 自平成16年10月1日 至平成16年12月31日	第3四半期 自平成15年10月1日 至平成15年12月31日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 当期純利益		20,787	30,376
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整			
(1) 減価償却費		46,531	44,359
(2) 投資有価証券評価損		0	7
(3) 少数株主損益		3,384	4,089
(4) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		524	1,034
(5) 資産及び負債の増減			
・受取債権の増加( )		23,107	30,035
・棚卸資産の増加( )		1,015	12,972
・営業債務の増加・減少( )		3,381	22,770
・未払法人税等及びその他負債の減少( )		22,588	3,668
(6) その他		9,957	969
小計		9,609	24,485
営業活動により増加した純キャッシュ		11,178	54,861
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 有形固定資産の購入		35,127	38,605
2. ソフトウェアの購入		5,269	10,224
3. 有価証券・投資有価証券の売却・満期償還		15,163	16,454
4. 有価証券・投資有価証券の購入		18,144	2,303
5. 投資及び貸付金の減少		672	3,067
6. 事業買収に伴う支出 (買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)		25,257	12,411
7. その他		9,934	1,782
投資活動に使用した純キャッシュ		77,896	45,804
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 長期債務による調達額		64	922
2. 長期債務の返済額		4,745	3,942
3. 短期債務の増加		13,085	10,339
4. 親会社による配当金支払額		6,415	6,417
5. 少数株主への配当金支払額		3,852	1,441
6. 自己株式の取得( )及び売却(純額)		40	106
財務活動により減少した純キャッシュ		1,903	645
為替変動による現金及び現金同等物への影響		1,839	1,204
現金及び現金同等物純増加・純減少( )		70,460	7,208
現金及び現金同等物期首残高		404,565	445,971
現金及び現金同等物期末残高		334,105	453,179

< 9ヶ月通算 >

単位 百万円

科目	期別	17年3月期	16年3月期	16年3月期
		9ヶ月通算	9ヶ月通算	3月期
		自平成16年4月1日 至平成16年12月31日	自平成15年4月1日 至平成15年12月31日	自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 当期純利益		73,493	71,488	82,317
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		131,673	127,941	172,622
(2) 投資有価証券評価損		33	295	466
(3) 少数株主損益		14,298	10,108	13,289
(4) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		2,169	686	667
(5) 厚生年金基金代行返上差額金		83,129	-	-
(6) 資産及び負債の増減				
・受取債権の増加( )・減少		5,545	32,071	20,519
・棚卸資産の増加( )・減少		16,692	15,011	174
・営業債務の増加・減少( )		20,089	13,232	19,719
・未払法人税等及びその他負債の増加		26,019	26,776	40,481
(7) その他		3,180	12,374	19,476
小計		63,007	142,958	245,041
営業活動により増加した純キャッシュ		136,500	214,446	327,358
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		113,495	114,627	160,070
2. ソフトウェアの購入		17,819	26,711	37,367
3. 有価証券・投資有価証券の売却・満期償還		27,974	31,847	46,672
4. 有価証券・投資有価証券の購入		62,289	5,842	16,634
5. 投資及び貸付金の増加( )・減少		2,026	1,393	1,702
6. 事業買収に伴う支出 (買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)		32,933	17,498	21,901
7. その他		20,749	10,066	19,588
投資活動に使用した純キャッシュ		221,337	141,504	207,186
財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		1,940	6,238	6,604
2. 長期債務の返済額		12,599	18,184	25,787
3. 短期債務の増加・減少( )		13,588	2,628	27,615
4. 親会社による配当金支払額		12,831	12,834	12,833
5. 少数株主への配当金支払額		7,080	3,494	3,550
6. 自己株式の取得( )及び売却(純額)		298	225	335
財務活動により減少した純キャッシュ		44,456	25,871	63,516
為替変動による現金及び現金同等物への影響		1,634	4,022	5,022
現金及び現金同等物純増加・純減少( )		127,659	43,049	51,634
現金及び現金同等物期首残高		461,764	410,130	410,130
現金及び現金同等物期末残高		334,105	453,179	461,764

## 5. 比較連結売上高明細表

### (1) 製品別連結売上高

< 第3四半期 >

単位 百万円

	17年3月期 第3四半期		16年3月期 第3四半期		増減 (は減少)	
	自平成16年10月1日 至平成16年12月31日		自平成15年10月1日 至平成15年12月31日		増減額	増減率
売上高:						%
イメージングソリューション	32.1%	205,461	33.6%	216,180	10,719	5.0
インフォメーションソリューション	29.3%	187,563	29.2%	187,698	135	0.1
ドキュメントソリューション	38.6%	247,004	37.2%	238,841	8,163	3.4
連結合計	100.0%	640,028	100.0%	642,719	2,691	0.4

< 9ヶ月通算 >

単位 百万円

	17年3月期 9ヶ月通算		16年3月期 9ヶ月通算		増減 (は減少)	
	自平成16年4月1日 至平成16年12月31日		自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		増減額	増減率
売上高:						%
イメージングソリューション	31.5%	595,559	32.5%	617,904	22,345	3.6
インフォメーションソリューション	29.7%	563,202	29.6%	564,346	1,144	0.2
ドキュメントソリューション	38.8%	734,192	37.9%	720,248	13,944	1.9
連結合計	100.0%	1,892,953	100.0%	1,902,498	9,545	0.5

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

- イメージングソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、  
現像プリント用のカラーペーパー・薬品・サービス等
- インフォメーションソリューション : 印刷用・医療診断用・情報システム用の各種システム機材、  
フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア等
- ドキュメントソリューション : オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、  
用紙、消耗品、オフィスサービス等

## ( 2 ) 国内・海外別連結売上高

## &lt; 第3四半期 &gt;

単位 百万円

	17年3月期 第3四半期 自平成16年10月1日 至平成16年12月31日		16年3月期 第3四半期 自平成15年10月1日 至平成15年12月31日		増減 (は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
国内	50.9%	325,925	50.6%	325,084	841	0.3
海外						
米州	21.3%	136,492	22.6%	145,055	8,563	5.9
欧州	14.2%	90,612	14.5%	93,256	2,644	2.8
アジア及びその他	13.6%	86,999	12.3%	79,324	7,675	9.7
計	49.1%	314,103	49.4%	317,635	3,532	1.1
連結合計	100.0%	640,028	100.0%	642,719	2,691	0.4

## &lt; 9ヶ月通算 &gt;

単位 百万円

	17年3月期 9ヶ月通算 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日		16年3月期 9ヶ月通算 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		増減 (は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
国内	50.9%	963,486	51.3%	976,134	12,648	1.3
海外						
米州	21.2%	401,418	22.2%	423,105	21,687	5.1
欧州	14.2%	268,144	14.6%	277,100	8,956	3.2
アジア及びその他	13.7%	259,905	11.9%	226,159	33,746	14.9
計	49.1%	929,467	48.7%	926,364	3,103	0.3
連結合計	100.0%	1,892,953	100.0%	1,902,498	9,545	0.5

## 6. セグメント情報

### (1) 事業別セグメント情報

< 第3四半期 >

単位 百万円

	17年3月期 第3四半期 自平成16年10月1日 至平成16年12月31日		16年3月期 第3四半期 自平成15年10月1日 至平成15年12月31日		増減 (は減少)	
					増減額	増減率
売上高:						%
イメージングソリューション:						
外部顧客に対するもの	32.1%	205,461	33.6%	216,180	10,719	5.0
セグメント間取引		120		177	57	-
計		205,581		216,357	10,776	5.0
インフォメーションソリューション:						
外部顧客に対するもの	29.3%	187,563	29.2%	187,698	135	0.1
セグメント間取引		1,011		1,288	277	-
計		188,574		188,986	412	0.2
ドキュメントソリューション:						
外部顧客に対するもの	38.6%	247,004	37.2%	238,841	8,163	3.4
セグメント間取引		2,788		2,814	26	-
計		249,792		241,655	8,137	3.4
セグメント間取引消去		3,919		4,279	360	-
連結合計	100.0%	640,028	100.0%	642,719	2,691	0.4

単位 百万円

	17年3月期 第3四半期 自平成16年10月1日 至平成16年12月31日		16年3月期 第3四半期 自平成15年10月1日 至平成15年12月31日		増減 (は減少)	
					増減額	増減率
営業利益:						%
イメージングソリューション	4.6%	9,412	8.3%	17,977	8,565	47.6
インフォメーションソリューション	8.1%	15,241	10.8%	20,371	5,130	25.2
ドキュメントソリューション	7.6%	18,865	6.1%	14,653	4,212	28.7
計		43,518		53,001	9,483	17.9
セグメント間取引消去		32		115	147	-
連結合計	6.8%	43,550	8.2%	52,886	9,336	17.7

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

- イメージングソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、  
現像プリント用のカラーペーパー・薬品・サービス等
- インフォメーションソリューション : 印刷用・医療診断用・情報システム用の各種システム機材、  
フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア等
- ドキュメントソリューション : オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、  
用紙、消耗品、オフィスサービス等

## &lt; 9ヶ月通算 &gt;

単位 百万円

	17年3月期 9ヶ月通算 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日		16年3月期 9ヶ月通算 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		増減 (は減少)	
					増減額	増減率
売上高:						%
イメージング ソリューション:						
外部顧客に対するもの	31.5%	595,559	32.5%	617,904	22,345	3.6
セグメント間取引		231		626	395	-
計		595,790		618,530	22,740	3.7
インフォメーション ソリューション:						
外部顧客に対するもの	29.7%	563,202	29.6%	564,346	1,144	0.2
セグメント間取引		3,423		3,540	117	-
計		566,625		567,886	1,261	0.2
ドキュメント ソリューション:						
外部顧客に対するもの	38.8%	734,192	37.9%	720,248	13,944	1.9
セグメント間取引		9,685		8,973	712	-
計		743,877		729,221	14,656	2.0
セグメント間取引消去		13,339		13,139	200	-
連結合計	100.0%	1,892,953	100.0%	1,902,498	9,545	0.5

単位 百万円

	17年3月期 9ヶ月通算 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日		16年3月期 9ヶ月通算 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		増減 (は減少)	
					増減額	増減率
営業利益:						%
イメージング ソリューション	2.3%	13,686	7.8%	48,415	34,729	71.7
インフォメーション ソリューション	9.2%	52,005	9.6%	54,637	2,632	4.8
ドキュメント ソリューション	10.7%	79,307	6.0%	43,600	35,707	81.9
計		144,998		146,652	1,654	1.1
セグメント間取引消去		146		51	95	-
連結合計	7.7%	144,852	7.7%	146,601	1,749	1.2

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

イメージング ソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、  
現像プリント用のカラーペーパー・薬品・サービス等

インフォメーション ソリューション : 印刷用・医療診断用・情報システム用の各種システム機材、  
フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア等

ドキュメント ソリューション : オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、  
用紙、消耗品、オフィスサービス等

( 2 ) 所在地別セグメント情報

< 第3四半期 >

単位 百万円

	17年3月期 第3四半期 自平成16年10月1日 至平成16年12月31日		16年3月期 第3四半期 自平成15年10月1日 至平成15年12月31日		増減 (は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
日本：						
外部顧客に対するもの	63.1%	404,026	63.0%	404,828	802	0.2
セグメント間取引		84,760		83,773	987	-
計		488,786		488,601	185	0.0
米州：						
外部顧客に対するもの	17.7%	113,505	19.3%	123,840	10,335	8.3
セグメント間取引		3,840		1,002	2,838	-
計		117,345		124,842	7,497	6.0
欧州：						
外部顧客に対するもの	11.2%	71,482	11.2%	72,245	763	1.1
セグメント間取引		2,785		3,155	370	-
計		74,267		75,400	1,133	1.5
アジア及びその他：						
外部顧客に対するもの	8.0%	51,015	6.5%	41,806	9,209	22.0
セグメント間取引		43,476		20,274	23,202	-
計		94,491		62,080	32,411	52.2
セグメント間取引消去		134,861		108,204	26,657	-
連結合計	100.0%	640,028	100.0%	642,719	2,691	0.4

単位 百万円

	17年3月期 第3四半期 自平成16年10月1日 至平成16年12月31日		16年3月期 第3四半期 自平成15年10月1日 至平成15年12月31日		増減 (は減少)	
					増減額	増減率
営業利益：						%
日本	6.9%	33,813	8.3%	40,760	6,947	17.0
米州	1.7%	1,953	2.1%	2,575	4,528	-
欧州	3.4%	2,493	5.6%	4,258	1,765	41.5
アジア及びその他	5.9%	5,529	8.2%	5,089	440	8.6
セグメント間取引消去	-	3,668	-	204	3,464	-
連結合計	6.8%	43,550	8.2%	52,886	9,336	17.7

< 9ヶ月通算 >

単位 百万円

	17年3月期 9ヶ月通算 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日		16年3月期 9ヶ月通算 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		増減 (は減少)	
					増減額	増減率
売上高:						%
日本:						
外部顧客に対するもの	63.2%	1,196,089	62.6%	1,191,771	4,318	0.4
セグメント間取引		258,261		241,515	16,746	-
計		1,454,350		1,433,286	21,064	1.5
米州:						
外部顧客に対するもの	17.8%	337,736	19.3%	366,765	29,029	7.9
セグメント間取引		9,336		3,638	5,698	-
計		347,072		370,403	23,331	6.3
欧州:						
外部顧客に対するもの	11.1%	209,648	11.4%	217,035	7,387	3.4
セグメント間取引		8,671		9,537	866	-
計		218,319		226,572	8,253	3.6
アジア及びその他:						
外部顧客に対するもの	7.9%	149,480	6.7%	126,927	22,553	17.8
セグメント間取引		95,022		58,087	36,935	-
計		244,502		185,014	59,488	32.2
セグメント間取引消去		371,290		312,777	58,513	-
連結合計	100.0%	1,892,953	100.0%	1,902,498	9,545	0.5

単位 百万円

	17年3月期 9ヶ月通算 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日		16年3月期 9ヶ月通算 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		増減 (は減少)	
					増減額	増減率
営業利益:						%
日本	7.7%	112,302	7.6%	108,433	3,869	3.6
米州	1.4%	4,840	3.3%	12,393	7,553	60.9
欧州	5.5%	11,911	6.0%	13,672	1,761	12.9
アジア及びその他	5.4%	13,303	8.0%	14,890	1,587	10.7
セグメント間取引消去	-	2,496	-	2,787	5,283	-
連結合計	7.7%	144,852	7.7%	146,601	1,749	1.2